

3.3 緊急停止および安全装置の確認

3.3.1 チェアの緊急停止

チェアの緊急停止が必要な場合、次の処置をすると緊急停止します。

- 1 チェア動作中、フットコントローラのドライブペダルを踏みます。
- 2 チェア動作中、フットコントローラのチェア動作に関するスイッチを踏みます。
(スプレスイッチ、バキュームスイッチは除く)
- 3 チェア動作中、チェア動作に関するパネルのボタンまたはA E Hパネルのスイッチを押します。

警告

- 緊急停止を行った原因を取り除いた後に復帰させてください。
- 原因を取り除かないで緊急停止の解除をすると、思わぬ事故や故障を引き起こすことがあります。

注意

- オートセットスイッチでチェアを作動させるとき、バックレストでツールなどを挟まないように注意してください。破損することがあります。また、チェアを作動させるとき、患者が正常の位置に座していることを確認し、作動中、患者からは目を離さないでください。

3.3.2 安全装置

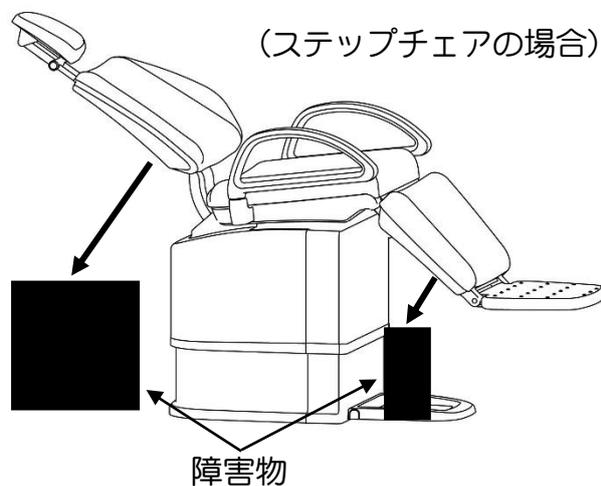
以下の場合、安全装置が働いてチェアは動作しません。

—チェアが動作しない状況—

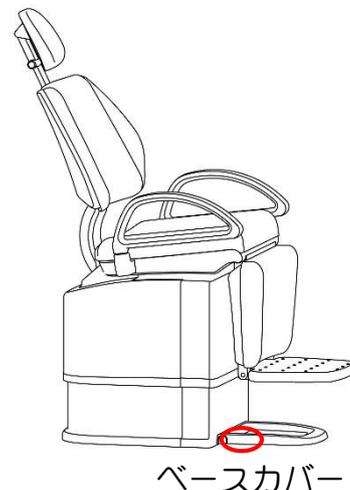
- (1) ハンドピース使用中（フットコントローラのドライブペダルを踏んでいる時）
- (2) チェアのベースカバー上に、足を乗せたり、物がある場合。
- (3) 鉢が回転させた位置にある場合。
- (4) 物が入り込み、A E Hが上に持ち上げられた場合。
- (5) チェアロックスイッチが作動中の場合。

{ステップチェアのみ}

- (6) 物が入り込み、バックレストが上に持ち上げられた場合。
- (7) 物が入り込み、レッグレストが上に持ち上げられた場合。



バックレストおよびレッグレスト



ベースカバー

注記：ベースカバーは丸印の部分で安全装置が働きます。

3.3.3 安全確認ポイント

□の安全確認ポイント内で、・印のついた事項については、診療の際の注意点です。診療時に問題が無いことを確認します。安全確認ポイントにおいて、■には安全装置が一部備わっています。「3.3.4 安全装置確認方法」の作業を行い、安全装置が確実に動くか確認を行います。

□ 無影灯配置

- ・チェアを作動させた時、患者と接触しないこと。
- ・周りに壊れやすいもの、障害物などが無いこと。

□ 無影灯

- ・前面フードははずれかかかっていないこと。
- ・フード固定ネジは緩んでいないこと。＜ネジがある場合。＞
- ・取っ手のガタつきがないこと。

- アーム可動部
 - ・患者が触れたり、接近していないこと。
- チェア可動部の隙間
 - ・患者が中央に着座し、手足、衣服などがチェアからはみ出していないこと。
 - ・患者の手、足、衣服、スリッパ、靴のヒールが挟まっていないこと。
- ユニット部下周辺
 - ・ユニット部下に子供や荷物などの障害物が入り込んでいないこと。
- テーブル側アームレスト回転周辺
 - ・患者の手が回転部に触れていないこと。
- ヘッドレスト可動部周辺
 - ・患者の手や髪が触れていないこと。
- フットコントロールの確認
 - ・意図したスイッチ以外に足が触れていないこと。
 - ・ドクターツール、アシスタントツールがフットコントロールに触れていないこと。
- バックレスト下周辺
 - ・バックレスト下面に器材やツールなどの障害物が無いこと。
- テーブル配置
 - ・診療時、患者の上にテーブルが配置されていないこと。
 - ・周りに壊れやすいもの、障害物が無いこと。
 - ・バックレストの後ろにテーブルが配置されていないこと。
- AEHテーブルの配置
 - ・AEHテーブル下に子供や荷物などの障害物が入り込んでいないこと。
 - ・AEHとアームレストの間に、患者の腕や手、衣類が挟まっていないこと。
- レッグレスト周辺
 - ・患者の座り方に問題がないこと。
 - ・レッグレスト下面に子供や荷物などの障害物が入り込んでいないこと。
- チェアベース
 - ・チェアベースの上に、足やフットコントロールが置かれていないこと。
- スピットンとアームレストとの間
 - ・患者が中央に着座し、足、体、衣服や障害物が無いこと。

3.3.4 安全装置確認方法

安全装置の確認をします。安全確認ポイントを参考に、以下の手順に従います。緊急停止スイッチは、「3.3.1 チェアの緊急停止」を確認してください。

【1】レッグレストの安全装置確認

チェアが下降する際に、チェアレッグレストに間に障害物が挟まった状態を想定します。チェアレッグレストを押し上げます。この状態で チェア下降スイッチ を押し、チェアが動作しないことを確認します。

{テーブルパネルのモニター表示灯が橙色に点滅し、表示器に表示されます。}



チェア表示

【2】AEHの安全装置確認

チェアが下降する際に、AEHテーブル下に障害物が挟まった状態を想定します。AEHテーブルを持ち上げて、この状態で「チェア下降スイッチ」を押し、チェアが動かないことを確認します。

{テーブルパネルのモニター表示灯が橙色に点滅し、表示器に表示されます。}



AEH表示

【3】テーブルアーム（1型）の安全装置確認

テーブルをバックレストの後ろに配置します。この状態で「チェア下降スイッチ」を押し、チェアが動作しないことを確認します。

{テーブルパネルのモニター表示灯が橙色に点滅し、表示器に表示されます。}



テーブルアーム表示

【4】スピットンの安全装置確認

スピットンを回転させた状態でチェアを作動させて、チェアのアームレストにぶつかる状態を想定します。スピットンを回転させた状態にします。この状態で「チェア上昇スイッチ」を押し、チェアが動作しないことを確認します。

{テーブルパネルのモニター表示灯が橙色に点滅し、表示器に表示されます。}



スピットン回転表示

【5】イスの動作装置確認

チェアオート動作で40秒経っても記憶した位置に来ない状態を想定します。重量オーバーになっていないか確認します。

{テーブルパネルのモニター表示灯が緑と赤で交互に点滅し、表示器に表示されます。}



チェア動作表示

【6】フットコントローラ ドライブペダルの安全装置確認

フットコントローラ ドライブペダルを踏んだ状態を想定します。この状態で「チェア上昇スイッチ」を押し、チェアが動作しないことを確認します。

{テーブルパネルのモニター表示灯が橙色に点滅し、表示器に表示されます。}



FCペダル表示

⚠ 注意

- 診療前に、必ず安全装置が確実に働くことを確認してください。安全装置が故障した状態のまま診療を行うと、事故やケガ、機器の損壊や故障を引き起こすおそれがあります。ご使用を中止して、「5.3 故障時の連絡手順」に従ってください。
- 安全装置を確認する際は、安全装置が故障していることも想定した上で作業を行ってください。安全装置を働かせている状態でチェアが動作した場合には、操作を中止してください。事故やケガ、機器の損壊や故障を引き起こすおそれがあります。
- 安全装置の確認のためにチェアを操作する際には、必ず上に指定されているスイッチ（四角で囲まれているスイッチ）でチェアを操作してください。それ以外のスイッチを使用すると、安全装置が故障している場合、事故やケガ、機器の損壊や故障を引き起こすおそれがあります。